

主題：キリストを経験し、享受し、表現する

メッセージ37

コロサイ人への手紙において（2）

わたしたちの命なるキリスト

聖書：コロサイ3:1-4. ヨハネ6:57後半. 14:19. ローマ5:10

- I. 命はパーソン、すなわち神の御子なるキリストです。神聖な命、すなわち「ゾーエ」はパーソンであるので、わたしたちは彼と接触し、彼を愛し、彼を経験し、彼を享受し、彼と一となり、彼を生き、彼を表現すべきです——I ヨハネ5:11-12. ヨハネ11:25. 14:6. I コリント6:17. ペリピ1:20-21前半。
- II. キリストがわたしたちの命であるという事実は、わたしたちが彼を命とし、彼のゆえに生きる強いしるしです——ヨハネ6:57後半. 14:19 :
 - A. わたしたちは日常生活の中でキリストを生き、コロサイ人への手紙において啓示されている、宇宙的に拡張するキリストを経験すべきです——1:15-19. 2:2, 9, 15-16. 3:10-11。
 - B. わたしたちがキリストをわたしたちの命とし、キリストを生きるなら、彼であるすべて、また彼が到達したすべては、わたしたちにとって単に客観的なままであるのではなく、わたしたちの主観的な経験となります——1:27. 3:4。
- III. 神の命はキリストの命であり、キリストの命はわたしたちの命となっています——ヨハネ5:26. コロサイ3:4 :
 - A. キリストがわたしたちの命であることは、彼がわたしたちにとって極みまで主観的であることを意味します——ヨハネ1:4. 14:6前半. 10:10後半. I コリント15:45後半. ローマ8:10, 6, 11。
 - B. 人をその人の命から切り離すことは不可能です。なぜなら、人の命はその人自身であるからです。こういうわけで、キリストがわたしたちの命であると言うことが意味するのは、キリストがわたしたちとなっており、わたしたちが彼と共に一つの命と生活を持っているということです——ヨハネ14:6前半. ペリピ1:21前半。
 - C. 信者たちの命としてのキリストには、それを天然の命から区別する三つの特徴があります：
 1. この命は十字架につけられた命です——ガラテヤ2:20。

2. この命は復活した命です——ヨハネ11:25。

3. これは、神の中に隠されている命です——コロサイ3:4. マタイ6:1-6, 16-18。

IV. わたしたちはキリストをわたしたちの命として経験するために、キリストと共に一つの地位、一つの命、一つの生活、一つの運命、一つの栄光を持っていることを見る必要があります——コロサイ3:1-4. 参照、Iコリント6:17:

A. わたしたちの地位とは、わたしたちがキリストの中にいるということです。わたしたちが彼の中にいるので、わたしたちは彼がいる所、すなわち神の右に座しているのです——コロサイ3:1. ヨハネ17:24. エペソ2:6:

1. 御子の地位は御父の中にあります（ヨハネ10:38. 14:10）。わたしたちは御子の中にいます（Iコリント1:30前半）。ですから、わたしたちは御父の中にいるのです（ヨハネ14:20. Iテサロニケ1:1. IIテサロニケ1:1）。

2. わたしたちは霊の中にいるとき、実行上また経験上、キリストの中におり、御父の中におり、天にいます:

a. わたしたちの霊の中のすべてを含む霊によって、天におられるキリストから地上にいるわたしたちに対して起こっている伝達があります——エペソ1:19, 22-23. 2:22。

b. 天の御座におられるキリストは（ローマ8:34）、わたしたちの中にもおられ（10節）、すなわち、わたしたちの霊の中におられ（IIテモテ4:22）、そこには神の住まいがあります（エペソ2:22）。

c. 今日わたしたちの霊は神の住まいの場所であるので、それは今や天の門であり、そこにおいてキリストはわたしたちを天に結合し、天をわたしたちにもたすはしごです——22節. 創28:12-17. ヨハネ1:51:

(1) わたしたちが霊に戻るときはいつでも、天の門から通って入り、天のはしごとしてのキリストを通して、天にある恵みの御座に触れます。

(2) わたしたちの霊は神聖な伝達の受ける側であり、神の御座は伝達する側です——ヘブル4:16。

B. 上にあるものを求め、わたしたちの思いを上にあるものに置くことは、主の神聖な事業である天の務めにおいて、彼と結合することです。これはキリストを生きること、キリストの生活と一である生活を持つことです

——コロサイ3:1-2:

1. キリストは彼の天の務めにおいて、大祭司として生きており、諸召会のためにとりなしています——ヘブル8:1, 4:14, 7:25, 4:16. 参照、コロサイ4:2。
2. キリストは彼の天の務めにおいて、天の奉仕者として生きており、キリストの豊富を聖徒たちに供給しています——ヘブル8:1-2, エペソ3:8。
3. キリストは彼の天の務めにおいて、神の行政の宇宙的な執行者として生きており、神の定められた御旨を成し遂げます——啓4:1-2, 5, 5:6。

1:10-11:

- a. 神聖な伝達は天にある御座から、上にあるものを地方召会の中へともたらしめます——エペソ1:19, 22-23。
- b. 地方召会の中で起こることは、天にある神の御座の指示の下にあるべきです。回復が「主の」回復であるためには、彼の指示の下になければなりません——コロサイ1:18, 2:19, 啓4:2-3。

V. わたしたちの命はわたしたちの内側に住むキリストであり、この命はキリストと共に神の中に隠されています。神の中に隠されているキリストは、金のつぼの中に隠されているマナによって予表されます——コロサイ3:4, 出16:32-34, 啓2:17:

- A. 隠されたマナとしてのキリストは、金のつぼとしての父なる神の中にいます。御父は、契約の箱としての、神性と人性という二つの性質を持つキリストの中にいます。そして内住の霊としてのキリストは、わたしたちの再生された霊の中に生きて、至聖所の実際となります——参照、ヨハネ14:16-20, IIテモテ4:22。
- B. わたしたちはキリストを隠されたマナとして食べるとき、彼の中へと合併されて、神とキリストにある信者たちとの相互の住まいとなります——ヨハネ15:5, 7, 8:31, 6:57, 63, 14:23。

VI. わたしたちはキリストをわたしたちの命とし、日ごとに実際的な方法で彼を経験すればするほど、ますます彼の命の中で救われます——コロサイ3:4,

I コリント15:45後半, ローマ5:10:

- A. 神聖な命の中で、罪の奴隷状態、罪の法則から救われるのは、キリスト・イエスにある命の霊の法則の自然な働きによります——8:2。
- B. 神聖な命の中で、今の世から救われるのは、究極的に完成された霊の聖別によります——12:2前半, 6:19後半, 22後半。
- C. 神聖な命の中で、わたしたちの天然の存在から救われるのは、命の与える霊の造り換えによります——12:2後半。

- D. 神聖な命の中で、個人主義から救われるのは、キリストのからだの中で建造されることによってです——5節。
- E. 神聖な命の中で、自己の様から救われるのは、命を分け与える霊の同形化によってです——8:29後半。
- F. 神聖な命の中で、わたしたちの卑しい体から救われるのは、神聖な命の美德の中で変貌させられることによってです——30節. ペリピ3:21. ローマ8:11。
- G. 神聖な命の中で救われることは、神聖な命の中で王として支配することです——5:17。
- H. 神聖な命の中で救われることは、サタンに対する勝利という結果になります——16:20。